

審査基準表

(令和8年度県立3病院医療機器等調達支援業務委託)

審査項目	審査内容	配点
提案 内容	事業の趣旨や目的等を十分に理解しているか。	5 5
	【仕様書4-(1)-1】 各部門や診療科とのヒアリングにあたり、以下の業務について具体性・実現性のある提案がされているか。	1 2
	優先順位及び必要性の確認	3
	調達機器の仕様、構成、グレード等の確認及び機器の導入・廃止に係る支援	3
	同等対抗機種の実施（2社以上の仕様にするによる価格低減の取組）	6 ※3点×2
	【仕様書4-(1)-2】 調達予定の医療機器に係る以下の業務について具体性・実現性のある提案がされているか。	9
	見積もりの取得及び価格調査	3
	納期の確認	3
	予定価格案の作成	3
	【仕様書4-(1)-3】 医療機器の3病院共同調達及び病院個別調達に係る以下の業務について具体性・実現性のある提案がされているか。	9
	仕様書及び入札資料作成支援	3
	入札における質疑等に対する回答案の作成支援	3
	入札結果における費用削減効果の算出	3
	【仕様書4-(2)】 ※ 医療機器等に係る予算の適正化に関する以下の点について、有用な分析手法が提案されているか（予算の適正化の趣旨については、審査基準表に記載）。	1 5
	全国と同規模病院の投資状況の分析（毎年どの程度投資をしているのか、医療機器の更新周期は耐用年数に対してどれくらいなのか等）	1 0 ※5点×2
医療機器等の専門的な知見を踏まえた提案がされているか（当局ではできない、専門業者ならではの提案がされているか）。	5	
【仕様書4-(3)】 医療機器及び部門システム更新支援業務について、直近（令和7年度新規購入分の医療機器）の状況を反映する提案となっているか。	5	
【仕様書4-(4)】 保守契約内容の見直しについては、新規購入分と更新分の医療機器についての提案となっているか。	5	
業務実施体制	業務の実施体制は適正かつ現実的か。必要な知識と経験を有する人材を配置しているか。	1 5 ※5点×3
業務実績	令和3年度以降に受託し、履行した同種業務の実績があるか。	1 5 ※5点×3
経済性	提案価格に優位性はあるか（配点×最低価格 / 提案価格） ※ 小数点以下切り捨て	1 5 ※5点×3
合計		1 0 0

※仕様書4-(2)の趣旨

- 現在は病院ごとに予算枠を設定しており、その中で医療機器を購入する形式をとっている。一方で、近年の物価高騰等の影響もあり、高額医療機器の更新があれば予算枠が不足する状況が出ていることから、予算枠を見直したい。
- 基本的には経営管理課で他県の状況を聞きつつ、予算の在り方を見直す予定としているが、医療機器等の専門的な知見等も踏まえて検討したい。

#### 【審査方法】

- (1) 委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- (2) 全ての委員の点数を集計する。
- (3) 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を受託候補者として決定する。  
なお、同点の場合は、委員の協議により決定する。
- (4) 委員の合計点数が最低基準点である360点(満点600点×6割)以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- (5) 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である360点(満点600点×6割)以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

#### 【評価基準(5段階)】

- 5 標準より非常に優れた提案
  - 4 標準より優れた提案
  - 3 標準的な提案
  - 2 標準よりやや劣る提案
  - 1 標準より劣る提案
- ※ 提案「仕様書4-(1)-1」から「仕様書4-(1)-3」以外

#### 【評価基準(3段階)】

- 3 標準より非常に優れた提案
  - 2 標準的な提案
  - 1 標準より劣る提案
- ※ 提案「仕様書4-(1)-1」から「仕様書4-(1)-3」